

令和2年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和元年8月9日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9643 URL http://www.nakanihonkogyo.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)服部 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 感動創造支援本部副本部長 (氏名)細川 秀樹 (TEL) (052)551-0274  
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第1四半期の業績(平成31年4月1日~令和元年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	988	12.4	62	262.1	67	190.2	45	196.8
31年3月期第1四半期	879	△12.4	17	△66.2	23	△57.8	15	△58.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	86.44	—
31年3月期第1四半期	29.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第1四半期	4,978	3,787	76.1
31年3月期	5,094	3,769	74.0

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 3,787百万円 31年3月期 3,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成31年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
令和2年3月期	—	—	—	—	—
令和2年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	△4.0	120	△20.8	130	△20.8	90	△14.2	169.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2年3月期1Q	540,000株	31年3月期	540,000株
---------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

2年3月期1Q	9,144株	31年3月期	9,144株
---------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2年3月期1Q	530,856株	31年3月期1Q	530,856株
---------	----------	----------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、穏やかな回復基調が継続しているものの、海外での政治や経済に不確実性があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社では、サービスの一層の充実を推進し、お客様にご満足いただける映画・商品をご提供することで「感動の創造」に努めてまいりました。

この結果、売上高は9億88百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は62百万円（前年同期比262.1%増）、経常利益は67百万円（前年同期比190.2%増）、四半期純利益は45百万円（前年同期比196.8%増）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

#### 【シネマ事業】

当事業では、名古屋駅前という立地条件とスクリーン数のメリットを活かした番組編成に注力してまいりました。

主な上映作品は、洋画では、「アベンジャーズ エンドゲーム」「アラジン」、邦画では「キングダム」、アニメでは、「名探偵コナン 紺青の拳」、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）では「シネマ歌舞伎 鶯娘/日高川入相花王」「さくら学院 2019年度 ～転入式～」等を編成いたしました。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」、名古屋市中村区の「LA BOBINE ガレットカフェ」では食材や製法にこだわったメニューの開発を実施し、「安全」、「おいしさ」の追及を図っていくことで、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は8億99百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は59百万円（前年同期比364.9%増）となりました。

#### 【アド事業】

当事業では、得意分野の映画関連を中心とした、積極的な営業展開により売上向上と安定的な収益に努めてまいりました。

この結果、当事業では、売上高は88百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は3百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は49億78百万円となり、前事業年度末に比べ1億16百万円の減少となりました。主な要因は、固定資産の減少73百万円となっております。

負債合計は11億90百万円となり、前事業年度末に比べ1億34百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債の減少1億12百万円となっております。

純資産合計は37億87百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円の増加となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の業績予想につきましては、令和元年5月13日公表時から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,282,982	1,235,062
受取手形及び売掛金	255,067	254,839
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	7,255	5,504
前払費用	29,501	29,623
預け金	68,433	63,509
その他	12,188	23,247
流動資産合計	1,955,428	1,911,787
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,020,156	1,000,038
構築物（純額）	1,714	1,502
機械装置及び運搬具（純額）	108,966	98,012
工具、器具及び備品（純額）	139,101	129,886
土地	634,896	634,896
有形固定資産合計	1,904,835	1,864,335
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	45,158	39,311
その他	323	312
無形固定資産合計	46,629	40,771
投資その他の資産		
投資有価証券	527,220	509,143
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	592,176	591,918
長期前払費用	35,732	35,137
繰延税金資産	22,829	15,011
投資その他の資産合計	1,187,958	1,161,211
固定資産合計	3,139,424	3,066,318
資産合計	5,094,852	4,978,106

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	555,413	460,857
リース債務	62,711	58,522
未払金	3,968	8,817
未払法人税等	41,047	11,641
未払消費税等	19,306	-
未払費用	91,510	109,848
従業員預り金	9,578	5,373
賞与引当金	16,200	8,207
その他	72,119	96,372
流動負債合計	871,855	759,641
固定負債		
リース債務	119,278	105,551
退職給付引当金	65,312	67,657
長期未払金	35,400	28,600
資産除去債務	82,778	83,122
受入保証金	150,300	146,202
固定負債合計	453,069	431,133
負債合計	1,324,924	1,190,774
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	250,406	234,480
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	703,663	749,552
利益剰余金合計	3,401,569	3,431,533
自己株式	△69,556	△69,556
株主資本合計	3,602,026	3,631,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,901	155,341
評価・換算差額等合計	167,901	155,341
純資産合計	3,769,928	3,787,331
負債純資産合計	5,094,852	4,978,106

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	879,933	988,862
売上原価	460,921	512,916
売上総利益	419,011	475,946
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	13,913	14,835
人件費	132,577	136,926
賞与引当金繰入額	8,197	8,207
退職給付費用	1,298	2,344
減価償却費	52,672	49,839
地代家賃	100,977	101,587
水道光熱費	16,736	17,435
修繕費	298	1,550
その他	74,947	80,242
販売費及び一般管理費合計	401,620	412,968
営業利益	17,391	62,978
営業外収益		
受取利息	852	860
受取配当金	3,472	3,477
貸倒引当金戻入額	1,571	-
その他	324	595
営業外収益合計	6,221	4,932
営業外費用		
支払利息	12	-
その他	353	441
営業外費用合計	366	441
経常利益	23,246	67,469
税引前四半期純利益	23,246	67,469
法人税等	7,786	21,580
四半期純利益	15,460	45,889

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	計		
売上高					
外部顧客への売上高	804,397	75,535	879,933	—	879,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	804,397	75,535	879,933	—	879,933
セグメント利益	12,738	4,653	17,391	—	17,391

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	計		
売上高					
外部顧客への売上高	899,862	88,999	988,862	—	988,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	899,862	88,999	988,862	—	988,862
セグメント利益	59,223	3,754	62,978	—	62,978

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。